

## 第543回 役員会(臨時) 議事概要

- 1 日時 令和4年5月17日(火) 9時30分～10時40分
- 2 場所 Zoom会議
- 3 出席者 構成員7名：  
牛木学長，川端理事，坂本理事，澤村理事，末吉理事，西田理事，塚本理事  
陪席者3名：  
田代監事，逸見監事，(欠席：富田特命理事)

### 4 審議事項

#### (1) 「死因究明拠点整備モデル事業」への申請について

「死因究明拠点整備モデル事業」への申請について、資料1に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・本件はモデル事業であるため、将来的にはエリアごとに日本をどうカバーしていくかという話に展開していくと思う。本事業に採択されたら、厚生労働省にもこのようにやるべきだという意見も伝えながら、本事業後の事業費の在り方等を作っていくていただきたい。
- ・死因究明教育センターとしては、東日本のエリアでは、本学と北海道大学を中心としたチームが担い、西日本のエリアでは、他の大学等のメンバーが担うというイメージであると思う。東日本のエリアには、東北大学もあるが、法医学の検査関係では薬物だけではないので、別のものというイメージであるか。
- ・その通りである。東北大学については、学内で薬学部とも分析について組んでおり、岩手医科大学との関係も深いので、そこをコアにして進めていくと思う。ただし、薬毒物検査については、原則的に簡易薬物検査を行い機器分析という流れになるが、簡易薬物検査は10種類程度しか検査ができず、東日本全体となるとかなりの数となるため、東北大学等とも連携してやっていく必要があると思う。

#### (2) 令和4年度「大学の世界展開力強化事業」への申請について

令和4年度「大学の世界展開力強化事業」への申請について、資料2に基づき審議が行われ、原案のとおり承認された。

(主な意見及び質疑等)

- ・人材像がフィールドサイエンスということで、災害、土木ということであると思うが、本公募での要求としては、産業というキーワードも入れたほうが

良いと思う。

- クラウドオンラインキャンパスについては、魅力的な話であり、うまく展開できると思うが、経費的な負担が大きくなるのではないかと思う。例えば、情報基盤センターで使うようなハードウェア等の資金も含めることも良いと思う。
- 本事業は毎年約2,000万円程度であり、ハードウェア等を購入するための金額はなかなか措置されないため、現在進めている情報基盤センターの整備を行っていく上で実施しなければならない。
- 本事業での人材像について、ぼやけた印象になっており、具体的な人材像が見えづらいため、どういう人材か問われると思う。
- フィールドエンジニア・コンサルタントというキーワードがどういった領域を指すのかわからないため、産業を作っていく人も含んでいることをうまく表現できると良いと思う。
- 各国で発展段階や課題が異なると思うので、課題が何であり、SDGsの区画ごとにどれが当てはまるのかを記載し、それを全部カバーするという内容にした方が分かりやすいと思う。
- フィールドという単語がシンボリックではあるが曖昧であるため、具体的な話を加えていくと整理できていくのではないかと思う。
- フィールド科学人材育成プログラムについて、これが何であるのかの説明もあったほうが良いと思う。
- ポンチ絵では農学部という記載もあるため、計画調書の取組学部にも農学部を記載しても良いと思う。
- インドは、ITやAIの関係が進んでいると思うが、そのような部分も本申請書の中に含めても良いと思う。
- AI等の記載はあったほうが良いと思うが、AI等の部分に力を入れているということではなく、当然にやっているというスタンスで記載したほうが良いと思う。